

## 明治期の性教育言説: 性情報空間の変遷に着目して

### Discourses on sex education in Meiji Era: Focusing on the transformation of discursive space for sexual information

赤川 学 (東京大学)

Manabu AKAGAWA (University of Tokyo)

akagawa@l.u-tokyo.ac.jp

明治期 (1868-1912) を、性情報 (言説) が生成・流通・消費される空間という観点から捉え直すと、17 世紀以来の近世的な秩序 (フーコーいうところの「性愛の術」) が、20 世紀以降の近代／現代的な秩序 (フーコーいうところの「性の科学」) へと緩やかに移行していく端境期 (中間期) と捉えることができる。

本報告では、イエやムラなどの共同社会、武士や貴族などの身分社会、商人や町人などのマチ (都市) 社会の重層として成立していた近世的な性情報の空間が、性科学 (性医学) の登場による医学的知識、学校や教育現場における性教育 (純潔教育や性欲教育を含む)、軍隊／工場／会社における規律訓練、家庭や家族の「家族計画」、主としてマスメディアによって流通する通俗的性情報の空間へと編成し直されるプロセスを明らかにする対象として、明治期の性教育言説に注目する。

近世後期 (1772・安永元) から明治後期にいたる医学・教育領域の史料群については、小泉(2018)が詳しい。教育領域では教訓書・子育て書・往来物、医学領域では養生書類、蘭学を含む医書が膨大に存在する。往来物としては『女大学宝箱』(1802)、養生書としては本井子承『長命衛生論』(1812)、蘭学系統の医学書としてはフーフランド『扶氏経験遺訓』(1857)などが有名であるが、本報告では、1875(明治 8)年、浜松井上藩の元藩医・千葉繁によって翻訳された『造化機論』ならびにその類書 (造化機論系書物) が日本の性文化・性知識・性教育に与えた影響を重視しつつ、近世的な性秩序との接続／切断について論じることを目指す。とりわけ、いかにしてなぜ性が、猥褻で、秘匿すべきものとして理解されるようになったのかについての解明を目指す。

詳細は当日の報告に委ねるが、幕末から明治ゼロ年代に興隆した英米医学から、ドイツ医学の転換が起こり、明治 10 年代以降、医学アカデミズムが成立する。専門的な雑誌や啓蒙的な雑誌が登場する中で、アカデミズムの言説と、造化機論系書物のような大衆向け啓蒙書籍との間に、齟齬が生まれてくる。明治 30 年代になると、アカデミズムで名を成した日本の医学者が一般向け啓蒙書を書くようになる (性科学の日本人化)。明治 40 年代には、性教育を家庭で行うか学校で行うか、あるいはそもそも行うべきでないか、という「性教育論争」が発生する。性教育、特にオナニー有害論に基づいてオナニーを禁圧する性欲教育が、

修身や道徳、体育や保健科目の中で拡散されるようになっていく。

本報告では、報告者のライフワークでもあるオナニー（自慰、マスターベーション）に関する情報（言説）ならびに、妊娠／避妊／不妊に関する情報（言説）の変遷に着目する。オナニー有害論は、近世の養生論、蘭学・洋学系統の医学書、造化機論系書物、医学アカデミズム（小児科学、衛生学）、大正期の通俗性欲学まで広く共有される言説の系であり、これに着目することで、領域・時期ごとの微妙な差異についても検出することができる。

また妊娠／避妊／不妊に関する情報（言説）は、現代の性教育／保健教育においてもホットイシューとなる事柄であるが、たとえば(a)『造化機論』の翻訳過程で、避妊に関する情報がカットされていること、(b)造化機論系の書物では、男女産み分け（法）に対する関心が特に強いこと、(c)現在ならばオギノ式周期法に基づくような妊娠に関わる知識が、一旦忘却されること、(d)結婚するカップルに対する指南書としても、これらの書物が使われたこと（＝近世の枕絵・春画の使われ方との共通性）などについて論じる予定である。

#### 【引用文献】

赤川学. 1999. 『セクシュアリティの歴史社会学』 勁草書房.

赤川学. 2014. 『明治の「性典」を作った男』 筑摩書房.

Foucault, Michel. 1976. Histoire de la Sexualité Vol.1: La Volonté de Savoir, Gallimard. =1986.

渡辺守章訳『性の歴史Ⅰ：知への意志』新潮社.

小泉友則. 2018. 『日本における「子どもの性」に関する認識・情報の変遷』総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・課程博士論文.

性情報（言説）が流通する空間

共同体（性民俗）

書籍（貸本）

    道德もの

    枕絵・春画

蘭学・洋学